



STRIKE WITCHES FANBOOK R18



2010  
BY, ROSETTASTONE.

ストライク  
ウitches  
ファン  
タジック  
ホン



「前書きのようなもの」

「イッルおめでとう！」

「ニースオムス、カウハバ基地内では翌日に第五〇一統合戦闘航空団へ行く」となつてゐるエイラ・イルマタル・ユーティライネンの送別会が

行われていた。同僚達がエイラに激励等の賛辞を送つてゐる中、一人だけうつむき加減で悲しそうな顔をしているエルマ中尉の姿があつた。「あの、イッル」とエイラに声をかけてはいるものの、氣弱なエルマの声はエイラの周囲の喧噪によつてかき消されてしまつてゐる。

そしてまたしゅん…と下を向いてしまつてゐる。

(エルマ先輩…?)

エイラもまたエルマの視線には気づいていたものの、話しかけることが出来ずになつた。

送別会も終わり、カウハバ基地は静寂を取り戻してゐた。  
エルマは自室にもどり一人落ち込んでいた。

自分の後輩が明日世界各国のスーパーエースのウイッチを集めた部隊へ行くといふのに、何一つ声をかけてやることが出来なかつた自分の不甲斐なさについてである。

黙つてゐるとエイラの事ばかり考えてしまい胸がいっぱいになり、ふと気づいた頃には右手がズボンの上から大事な部分をさすり始めていた。

「イッル…」

やめようと思つても体は言つことを聞かず、指は今もさすり続け、断続的に波のような快感に身を震わせていた。部屋の扉が開いたことすら気づかないほどに。

「エルマ先輩っ」と何者かが背後から首に手を回し、抱きついてきた。「わわっ！」我に返り突然の襲撃者の姿を確認したところ、先程まで頭の中を支配していたエイラ本人である。

「イ、イッル…? どうして…?」

さつきさ、あたしに何か言おうとしてくれたろ？」

なおも抱きついたままエイラが答える。

「それを聞きに来たんだ…ん」

エイラの言葉が不意に止まり視線は下の方を向いていた。う云々。的な感じの話を漫画でちゃんとやりたかった：

時間が無かつたんです、本当にごめんなさい

漫画はだいたいこの後からというイメージです。



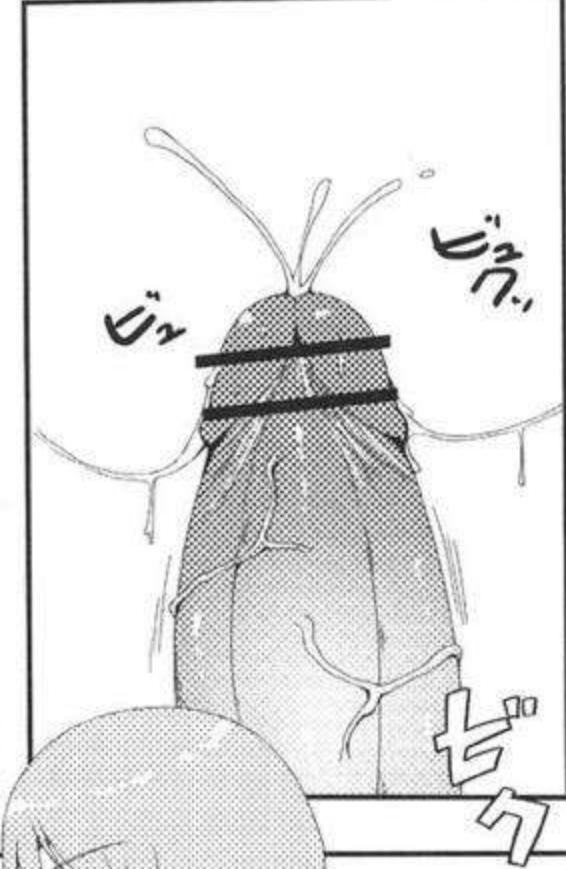
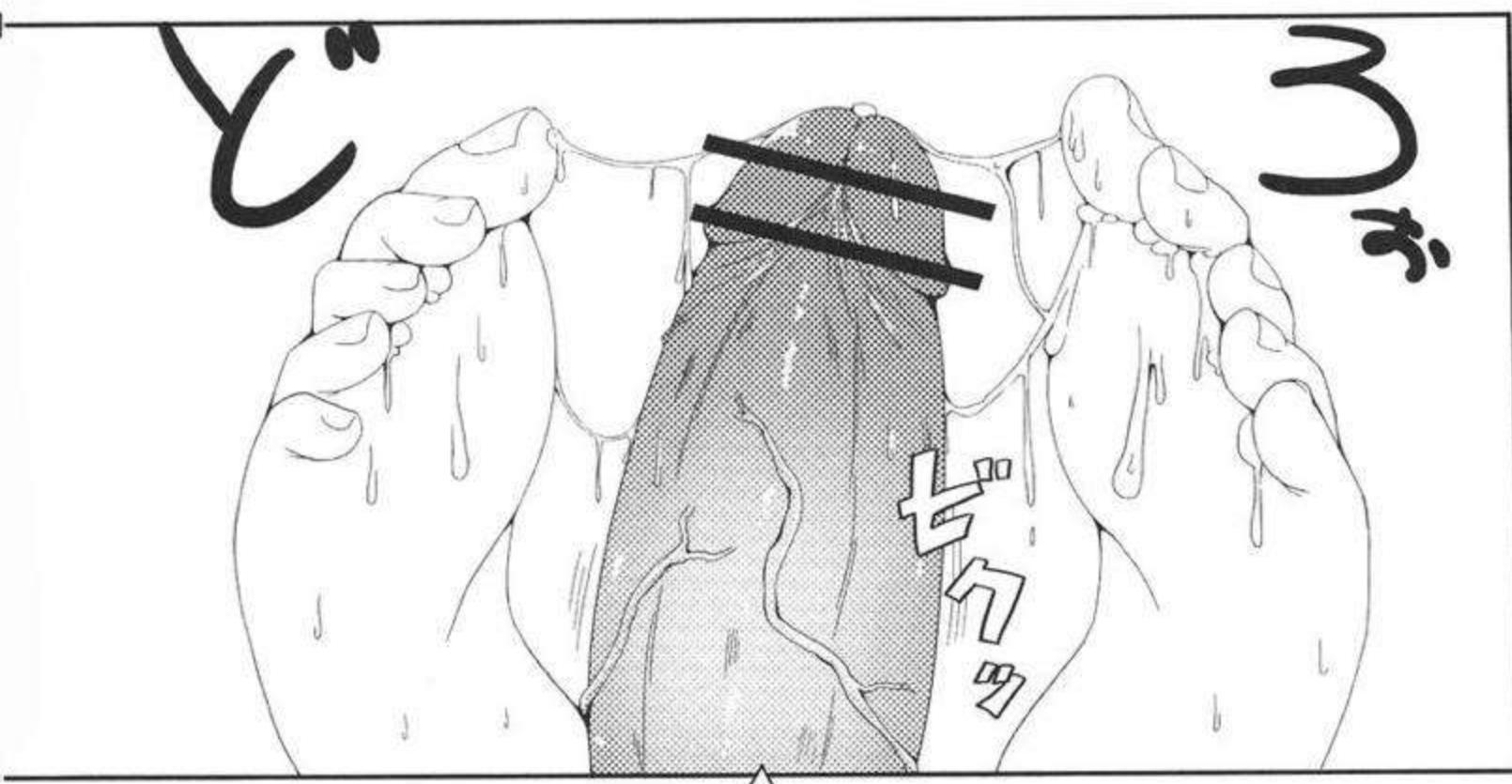




…足?









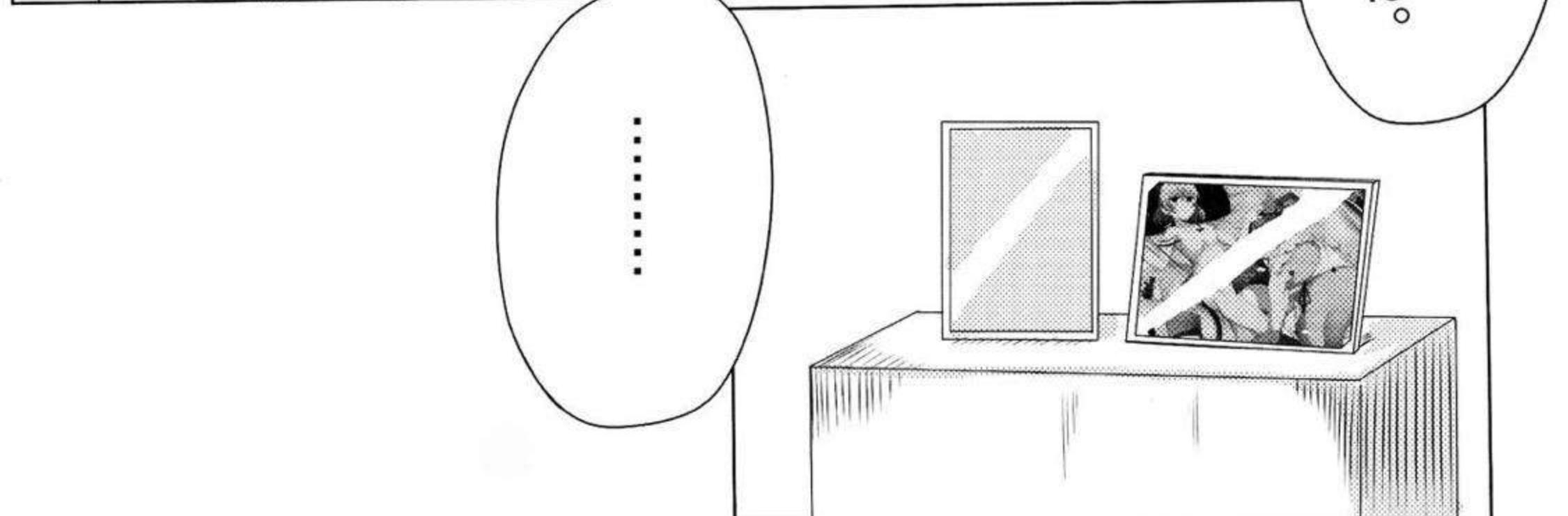
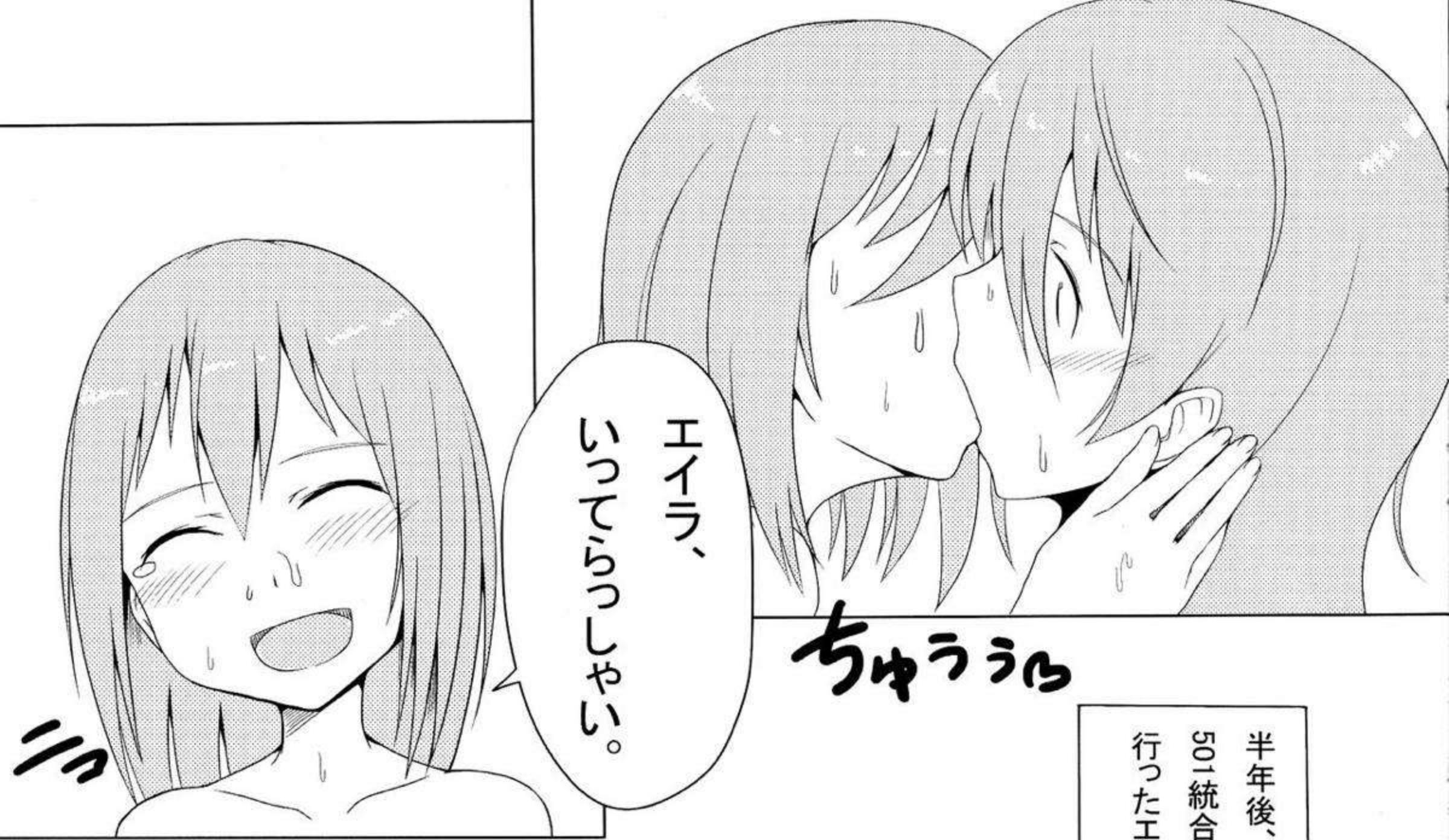


たくさん

でてるうつ

ああああああ  
あああああつ





# ～前書き～

どうもこんにちは、たかりゅんです。

(ω・')なにやらゲストに誘われる度にページ数が増えてる

ような気がするわ…。 もはや合同誌ですなっ！ なっ!!

そしていつもどおり〆切に追われ時間がない

わけなのです…^q^!

←いきなり、「というわけで」と始まって

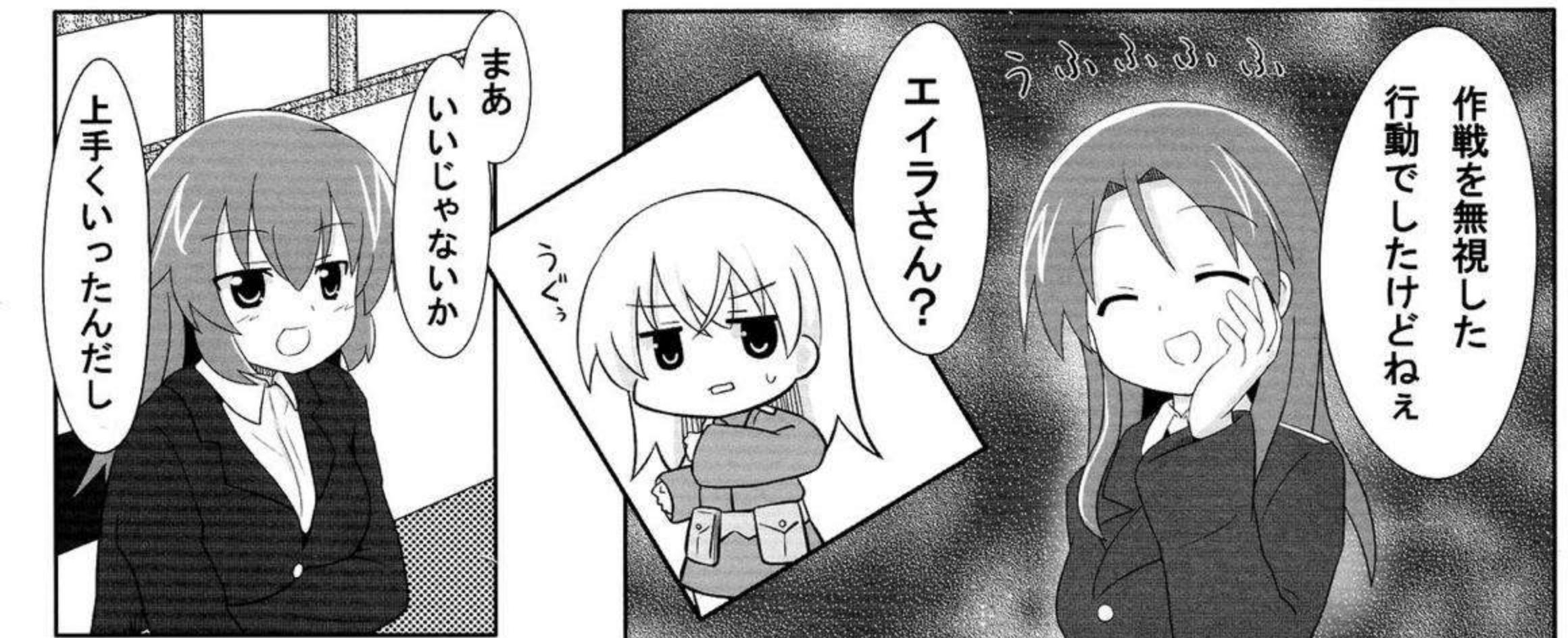
ますが、2期の6話のあとということ

でひとつよろしくお願ひします！

ではまた、後書きで！

(ω・')ノシ







：騒ぐのも  
程ほどにしておけよ



















～あとがき～

この本を手にとって頂きありがとうございます!  
たまには時間に余裕をもって入稿してみたいですね…  
スト魔女も劇場版が決定して、楽しみではあるんですが同時に不安も同居します。  
おそらく今年ロードショーされた映画のせいです。  
スト魔女は対話型ストライカーユニットとかやらないで欲しいですね。あとメタル化。  
とても楽しみにしていただけに心折られたなー…  
さて今回は、はじめての18禁本という試みだったのですが果たして成功と言えるかどうか。  
というより、18禁がメインの本にするつもりじゃなかつたんです!ちゃんと前後のストーリーも考えていたんです!  
機会があったらやって…みたいですね…ハイ。

ろせったすとーん



## ～後書き～

サーニャソンナメテミンナー!!

というわけで後書きです。

なんかもう雑で申し訳ねえ仕上がりですにー…orz

18禁漫画描いたのは2回目なのですが、やっぱリムズイですね！

いろいろと。(ω・')でも、汁描くの楽しかったです！

今度じっくり時間かけて挑戦したいと思います。

といってもまた〆切ギリになるんでしょうねー。

お誘いどもでしたー。

(ω・')ノシ



# ～奥付～

発行 ろぜったすとーん

発行日 12月31日

印刷会社 PrintWalk  
(プリントウォーク)様

ひくしぶ

<http://www.pixiv.net/member.php?id=776780>

